

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	自治推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市の自治の基本理念や自治運営の基本原則などを定めた「高松市自治基本条例」に基づき、市民、議会、行政が連携・協力してまちづくりに取り組み、自治を推進することができるよう、周知広報に努めるとともに、自治の運営状況を把握し、検証するため自治推進審議会を開催する。		
2年度概要	高松市自治推進審議会（自治の推進状況及び条例の見直し等の検討） 条例パンフレットの配布 高松市自治基本条例逐条解説及び手引きの作成		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	市民（事業者、NPO、通勤通学者等含む）、議会、行政
意図（どのような状態にしたいか）	自治の担い手である市民、議会、行政が連携・協力して地域の個性や自立性を尊重した、市民主体の活力のあるまちづくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
審議会等の回数	回	1	1	1	1	1
パンフレット等配布数	部	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	施策全体の満足度（市民満足度調査）	%	目標値	28.4	28.7	29	29	29
	実績値	23.6	25.3	28.8				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民満足度調査の結果では、施策全体の満足度は28.8%となっており、目標値に対して、99.3%の達成率となった。 (目標達成度)							(達成度) 99.3%
								34点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	2,322	2,328	2,322	2,341
（事業費）	[円]	46	59	46	65
（職員人件費）	[円]	2,276	2,269	2,276	2,276

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

高松自治基本条例の見直しの有無について、各所属に確認を行ったところ、条例見直しの必要性はなかった。また、自治推進審議会を開催し、自治基本条例に基づく自治推進の状況を検証した。今後も、市民主体のまちづくりを推進するため、関連施策を継続して実施する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

自治基本条例に基づく自治推進の関連施策の進捗状況をこれまでどおり検証するとともに、若い世代を中心として、自治理念が浸透するよう、効果的な情報発信を行う。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	ファシリティマネジメン
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2262
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	ファシリティマネジメント推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の公共施設・公用施設は、老朽化が急速に進展しているが、今後の財政状況を考慮すると、全ての施設を現状のまま維持・更新することはできず、施設の保有総量を削減するなど、施設に係る経費の削減に取り組む。また、公共施設サービスの維持を図るため、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、経営的な観点から、施設の用途転用や共用化による有効活用の促進配置の見直し、複合化、未利用スペースの貸出などに取り組む。				
2年度概要	非常勤嘱託職員報酬及び社会保険料 FM推進支援専門員報償費及び旅費 システム委託料 その他				
重点取組事業	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	内部管理事務	

【事業の目的】

対象(何を)	市が保有する全ての公共施設（FM推進基本方針で対象外としている施設は除く）を対象とする。
意図(どのような状態にしたいか)	中長期保全計画等の策定を行い、効率的・効果的な維持保全や長寿命化対策により、適切な維持管理を行うことにより、財政負担の軽減や平準化に努めるとともに、市有施設の保有総量（延床面積）の最適化を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
庁内プロジェクトチーム開催回数	回	5	7	1	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
		各種方針・計画等策定の進捗率	%	目標値	95	100	100	100
			実績値	95	100	100		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 100.0%
	公共施設再編整備計画は、計画(案)1次～3次を取りまとめて平成30年10月に策定した。今後は、同計画の進捗管理に努めつつ、適宜見直しを行うとともに、国の策定指針の改定に伴う公共施設等総合管理計画の改定に向けた取組を進めていく。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
			実績値					
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	46,965	49,514	57,369	58,965
(事業費)	[千円]	5,236	4,142	4,253	5,849
(職員人件費)	[千円]	41,729	45,372	53,116	53,116

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

公共施設再編整備計画の進捗管理に努め、5施設において実施計画が策定されたが、その他の施設所管課においては、施設の今後の利活用検討や関係者との調整に時間を要している。  
その他、計画の見直しに係る人件費等のコスト削減を図るため、公共施設マネジメントシステムの機能を補うためのRPAを導入した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

ファシリティマネジメントの取組効果の早期発現に向け、公共施設再編整備計画において廃止等の方向性を定めた施設については、実施計画の策定を進めつつ、計画の見直し検討にも着手するとともに、国の策定指針の改定に伴う公共施設等総合管理計画の改定に向けた取組を進めていく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	行政改革推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2160
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	総合センター整備事業（行政改革推進室分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要  
 住民ニーズの多様化、経済活力の低下に伴う税収の減少や社会保障費の増大など、市政を取り巻く環境の変化や本市の将来的なまちづくりの方向性を踏まえて、市民の身近な行政機関である、支所・出張所で構成される地域行政組織について、現状と課題を検証し、行政資源の再配分と効率的運用を図るため、現状の「本庁・支所・出張所」の二層構造を、「本庁・総合センター・地区センター（仮称）」の三層構造に再編し、市民ニーズに的確にこたえられる合理的な行政組織を目指す。本庁・総合センター・地区センター（仮称）においては、幼児健康診査の機能を有する保健センターを整備し、高松市南部エリアの地域保健活動の充実を図る。

2年度概要  
 ・地域行政組織再編計画の推進  
 ・中部総合センター（仮称）建設工事等  
 ・東部南総合センター（仮称）実施設計等

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	------	----------	---------


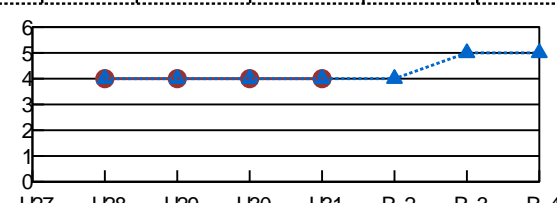

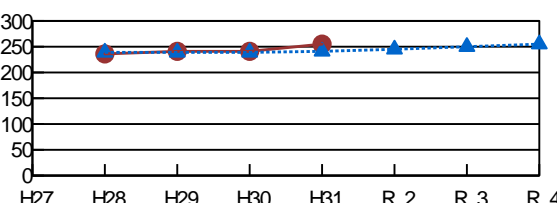
【事業の目的】

対象（何を）	総合センターを利用する高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合センターを利用することにより、これまでよりも幅広い行政サービスの提供が受けられ、市民の利便性が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%	100	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
総合センターへの移行施設数	か所	目標値	4	4	4	4	4
		実績値	4	4	4	4	4
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当初の目標どおり、牟礼・勝賀・国分寺・香川の各総合センターを、平成29年1月30日にオープンした。 							(達成度) 100.0% 35点
総合センターの取扱業務数	業務	目標値	239	239	241	245	245
		実績値	241	241	255	255	255
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 計画時の239業務に対し、システム改修により実施困難となった業務及び新規・拡充の位置づけが支所既存に変更された業務がありオープン時には236業務となったが、各課及び総合センターと検討・協議を行い、31年度末時点で255業務となった。 							(達成度) 105.8% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	6,828	6,806	5,312	5,312
（事業費）	[千円]				
（職員人件費）	[千円]	6,828	6,806	5,312	5,312

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

総合センターの事務取扱件数について、調査を継続している。件数は増加しているが、市民が総合センターの利便性を実感できるよう、今後も取扱事務の検討が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、市民の利便性が向上するよう、プロジェクトチームを中心に地域行政組織再編計画を推進する。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	地域振興課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2278
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	総合センター整備事業（地域振興課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	住民ニーズの多様化、経済活力の低下に伴う税収の減少や社会保障費の増大など、市政を取り巻く環境の変化や本市の将来的なまちづくりの方向性を踏まえて、市民の身近な行政機関である、支所・出張所を構成する地域行政組織について、現状と課題を検証し、行政資源の再配分と効率的運用を図るため、現状の「本庁・支所・出張所」の二層構造を、「本庁・総合センター・地区センター（仮称）」の三層構造に再編し、市民ニーズに的確にこたえられる合理的な行政組織を目指す。「本庁・総合センター」なお、中部総合センター（仮称）においては、幼児健康診査の機能を有する保健センターを整備し、高松市南部エリアの地域保健活動の充実を図る。				
2年度概要	【中部】 建設工事等 交流広場整備工事 給水工事負担金（R1繰越明許） 埋蔵文化財調度品整理（R1繰越明許）				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象（何を）	総合センターを利用する高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合センターを利用することにより、これまでよりも幅広い行政サービスの提供が受けられ、市民の利便性が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%	100	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	総合センターへの移行施設数	か所	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当初の目標どおり、牟礼・勝賀・国分寺・香川の各総合センターを、平成29年1月30日にオープンした。 (目標達成度)							(達成度) 100.0%
								35点
成果指標	総合センターの取扱業務数	業務	目標値	239	239	241	245	245
			実績値	241	241	255	255	255
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 計画時の239業務に対し、システム改修により実施困難となった業務及び新規・拡充の位置付けが支所既存に変更された業務があり、オープン時には236業務となったが、各課及び総合センターと検討・協議を行い、31年度末時点で255業務となった。 (目標達成度)							(達成度) 105.8%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	11,778	154,669	44,292	970,944
（事業費）	[円]	4,191	139,545	29,116	955,768
（職員人件費）	[円]	7,587	15,124	15,176	15,176

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

整備に当たり、コスト意識を持ちながら関係課と協議を行った。中部総合センター（仮称）建設工事の入札が不調になったことにより、施設の開館日には影響がないものの、指定管理の選定が3か月遅れる見込となった。
---

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後、財源の確保（都市構造再編集中支援事業の活用）、工事費及び将来的な維持管理費の抑制を図る。また、総合センターのオープンに合わせて地域行政組織再編計画を推進する。
--

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	839-2363
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	総合センター整備事業（健康づくり推進課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要  
 住民ニーズの多様化、経済活力の低下に伴う税収の減少や社会保障費の増大など、市政を取り巻く環境の変化や本市の将来的なまちづくりの方向性を踏まえて、市民の身近な行政機関である、支所・出張所で構成される地域行政組織について、現状と課題を検証し、行政資源の再配分と効率的運用を図るため、現状の「本庁・支所・出張所」の組織構造を、本庁・総合センター・地区センター（仮称）の三層構造に再編し、市民ニーズに的確にこたえられる合理的な行政組織を目指す。本庁・総合センター・地区センター（仮称）においては、幼児健康診査の機能を有する保健センターを整備し、高松市南部エリアの地域保健活動の充実を図る。

2年度概要  
 本庁工事  
 電気設備工事  
 機械設備工事  
 太陽光発電設備工事  
 工事監理業務委託

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	------	----------	---------


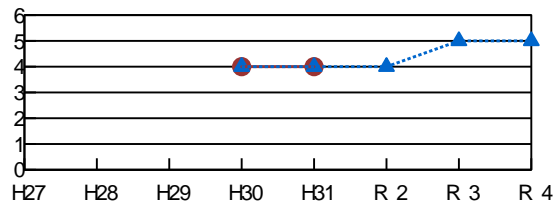

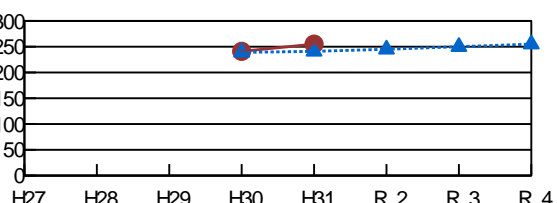
【事業の目的】

対象（何を）	総合センターを利用する高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合センターを利用することにより、これまでよりも幅広い行政サービスの提供が受けられ、市民の利便性が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
整備事業の進捗率（事業費ベース）	%		100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
総合センターへの移行施設数	か所	目標値		4	4	4	4
		実績値		4	4	4	4
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当初の目標どおり、牟礼・勝賀・国分寺・香川の各総合センターを、平成29年1月30日にオープンした。 （目標達成度） 							（達成度） 100.0% 35点
総合センターの取扱業務数	業務	目標値		239	241	245	245
		実績値		241	255		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 計画時の239業務に対し、システム改修により実施困難となった業務及び新規・拡充の位置づけが支所既存に変更された業務がありオープン時には236業務となったが、各課及び総合センターと検討・協議を行い、31年度末時点で255業務となった。 （目標達成度） 							（達成度） 105.8% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]		4,470	9,435	398,743
（事業費）	[千円]		3,714	8,676	397,984
（職員人件費）	[千円]		756	759	759

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

幼児健康診査の機能を有する保健センターの整備に向け、必要な備品等の選定等を行うとともに計画に遅れが生じないように関係課との連携に努める。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

中部総合センター（仮称）内保健センターでの幼児健診の実施に向け、医師会等関係機関との調整を行うとともに、幼児健診以外の実施事業等についての検討も進める必要がある。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	高松版図柄入りナンバープレート導入事業		事業期間	平成30年度～令和2年度

【事業全体概要】

事業の概要	「高松市」のシティプロモーションの一環として、本市の魅力をPRするとともに地元高松に対する市民の誇りや郷土愛の醸成を図るため、高松版図柄入りナンバープレートの普及に向けて取り組む。				
2年度概要	協議会の設立準備 図柄入りナンバープレート普及・啓発活動				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	地元高松に対する誇りや郷土愛を醸成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
普及・啓発活動実施回数	回			6	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	高松版図柄入りナンバープレート（寄付金あり）の交付枚数	枚	目標値				2,000	2,000
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
		(目標達成度)						
	高松版図柄入りナンバープレート（寄付金あり）の交付枚数	枚	目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]		2,660	8,786	2,276
（事業費）	[円]		391	6,510	
（職員人件費）	[円]		2,269	2,276	2,276

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

国土交通省から高松版図柄入りナンバープレートのデザインの承認が得られ、同デザインの使用に関する要綱の整備を行った。また広報たかまつや市ホームページを活用して高松版図柄入りナンバープレートの周知・啓発を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

寄付金を活用する協議会の設立準備を行うとともに、引き続き広く市民に対し、高松版図柄入りナンバープレート制度の周知・啓発を行っていく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	次期たかまつ創生総合戦略策定事業		事業期間	平成3年度～平成3年度

【事業全体概要】

事業の概要	人口減少の抑制に取り組み、人口減に対応できる社会を構築するため、外部有識者等で構成されるたかまつ創生総合戦略推進懇談会などの市民からの意見を聞きながら、戦略の策定に取り組む。				
2年度概要					
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	


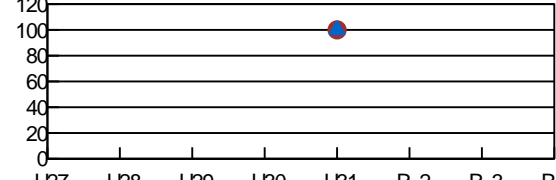

【事業の目的】

対象（何を）	第1期たかまつ創生総合戦略
意図（どのような状態にしたいか）	人口減少対策を中心とした、地方創生に資する具体的な施策や取組を示すものとして策定する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
たかまつ創生総合戦略推進懇談会開催回数	回			1		

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
たかまつ創生総合戦略策定率	%	目標値			100		
		実績値			100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） たかまつ創生総合戦略推進懇談会で「第1期たかまつ創生総合戦略」等の効果検証を行うとともに、年度当初より、計画的にアンケート調査、意見交換会、ワークショップ等を実施し、それらの意見を反映させることにより、本市の実情に沿った人口減少対策を盛り込んだ戦略の策定を行うことができた。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]			16,608	0
（事業費）	[千円]			9,020	
（職員人件費）	[千円]			7,588	0

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	完了
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

「人口減少を抑制する戦略」と、「人口減少社会に対応する戦略」という2つの戦略のもと、体系的な基本目標を設定したことで、人口減少、少子・超高齢社会の本格化の局面に対応する戦略を策定することができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

次期たかまつ創生総合戦略の策定については、昨年度で完了したが、今後、実施事業の効果を検証するとともに、検証結果を踏まえた施策の見直し等を行い、戦略の効果的な推進に努める。